

04 まちの将来像

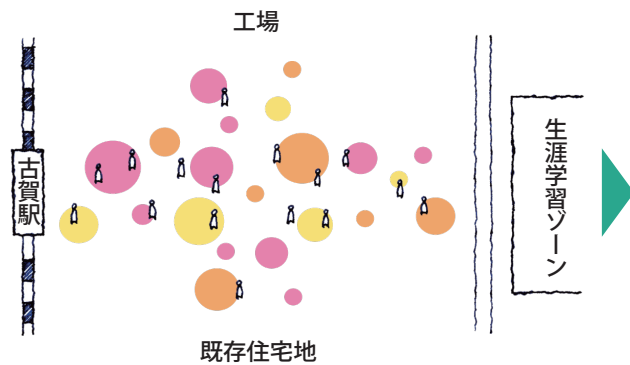
04 まちの将来像

1. まちの将来像の成立に向けた3つのステップ

地域住民と古賀市に移り住む新たな住民の双方にとって居心地の良い空間となるような、「賑わいと憩いの舞台となる 人を中心としたオープンスペース」を東口周辺地区における実現したいまちの将来像と考え、その成立に向けた3つのステップを以下に示します。

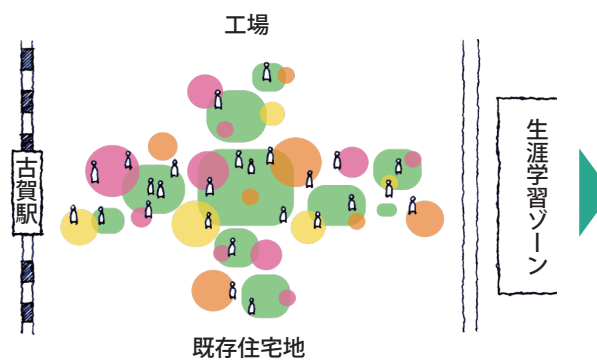
① 多様な賑わいの集まりが駅とまちをつなぐ

駅と生涯学習ゾーンの間が多様な賑わいの場所や活動の場所が点在し、人々が楽しく行き来しやすい環境をつくることにより、駅とまちがつながります。



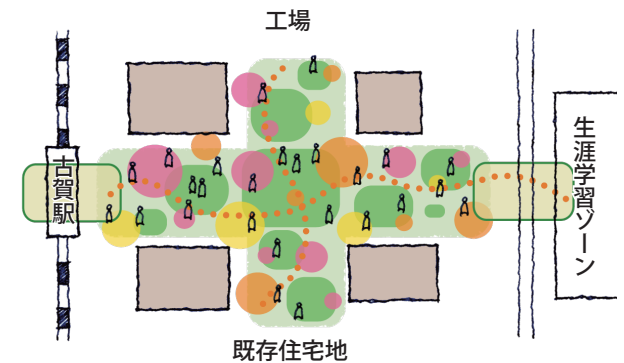
② 居心地の良さがつながりを強める

人が一休みしたり憩う場所、居心地の良い場所を重ねることにより、そこに滞在する人が増え、駅とまちのつながりがより強まります。



③ 賑わいと憩いの舞台となる人を中心としたオープンスペースをつくる

人々が集い、往来する賑わいと憩いの舞台として、公園やデッキ等のオープンスペースが一体的につながり、それらを囲むように建物を配置します。



2. 実現したいシーン

駅付近のオープンスペースでは・・・

楽しさを共有できる

西口でダンスを習っている学生。
今日はお祭り、仮設のステージでダンスを披露。
「家族も見に来てくれている！」
いつにも増して、駅前が賑わっている。



日常の出会いがある

バスで駅に立ち寄ったお母さん。
電車で帰ってくる、お父さんと子どもと待ち合わせ。
みんなで帰宅する前に、公園に面するカフェに
「ちょっと寄り道してみよう。」
駅前では様々な家族が、思い思いに時間をすごしている。



思いがけない感動がある

車窓からの風景を見て、ふいに降りてみた観光客。
駅から出ると多くの人が集まっている。
その賑わいに、なんだか楽しくなってきた、
「今度は友達と一緒に、また来よう」と思った。

中央のオープンスペースでは・・・

芝生の広場で安らげる

子育てに忙しいお母さんとお父さん。
子どものイヤイヤ期もはじまって更に大変。
今日は、穏やかな天気誘われて広場にやってきた。
芝生の香りと風が心地よい。「子どもの笑顔で癒される。」
ふと、同世代の子育て世代が多いことにも気が付いた。



新しい事業にチャレンジできる

地元の食材を使ったスイーツで地域を盛り上げたい。
そんな思いを、公園内の小型店舗でついに叶えた。
何度も通ってくれるファンも増えてきたし、
「これから、もっともっと頑張るぞ！」

木陰で休息が得られる

近くで働く会社員。
最近リモートワークで自宅作業が続いている。
なんだか運動不足なので、
「仕事の合間に公園を歩いてみよう。」
木陰の風が涼しくて、すれ違う人も心地よさそう。



生涯学習ゾーン付近のオープンスペースでは・・・



待ち合わせに立ち寄る

リーパスプラザこがでのコンサートに訪れたシニア世代の夫婦。
今日は小学校の頃からの友達と待ち合わせ。
観覧客も多く、コンサートは人気がありそうだ。
「期待も高まってくる。」



本の読み聞かせを楽しむ

図書館に遊びにきた親子。
借りたかった絵本をようやく借りられ、子どもは大喜び。
天気も良いので、「公園で読んで！」とのリクエストに応えることに。
近所のお友達も来ているみたい。



文化的な交流を楽しむ

今日は図書館のイベントが公園で開催中。
公園沿いのカフェも参加するコラボイベントのようだ。
どおりで今日は若い人が多い。